

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」浜北駅前校			
○保護者評価実施期間	令和7年11月3日 ～ 令和7年12月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	令和7年11月3日 ～ 令和7年12月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月12日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・フィードバックの時間において、①本日の支援の内容と②その支援から見てきたお子様の様子、これらを常に共有するようしている事。また、共有時に③都度親御様からの心配事を聞いている点。	・左記の③が親御様から出て来た時に、都度学校やお子様が行われている(放課後児童クラブ等)施設に連絡を入れて、利用児さんの情報を共有する一方で、きらりで行っている支援を提示しながら、利用児さんが馴染みやすい環境構築に努めている。	・今後は情報を共有した施設の方々にも、当施設へ容易に来られるよう働きかける事で、より利用児さんの関わりを見える化し、同じような支援が確保出来るよう図っていく。
2	・駅周辺にある校舎である事から、利用児さん自ら公共交通機関を使いながら通所できる点。	・左記のメリットがあるので、利用児さんには「時計の見方」や駅周辺の駐輪場の使い方を実践形式に培えられるように活動へ落とし込んでいる。	・今後、特別支援学校から利用されていく児童さんには、この経験をより多く届ける事で、就労や自活する時の糧にしていけるよう対応していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援室内のスペースに「狭さ」を感じさせている。	・ワンフロアで3件の支援を行っている事と、そのフロア内をパーテーションで区切ったり、一定数以上の「机やイス」があったりする為。	・パーテーションの置き方や机、備品等の置き方を自校舎のみならず、他校舎にも置けるかどうかを確認しながら、できる限り利用児に狭さを感じさせないよう取り計らっていく。
2	・保護者間の交流の場が少ない。	・現状、ファミリーカフェを介して、保護者間の共有は出来ていると感じていたと捉えていた点が課題と見ている。	・今後は、保護者会の希望を取る取り組みも行いつつ、親御様にアンケートを取りながら、今一度保護者会の回数を聞いていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」浜北駅前校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

49名

回収数

32名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	6	0	0	・もう少し体を動かす活動を取り入れてほしいので、スペースが狭いかなと思います。 ・少人数なので狭いと感じたことはありません。 ・体操やリズムなどはスペースが狭いと思います。	・バーテーションの在り方や机等の配置を今一度確認しながら、適切なスペースが確保できるよう対応いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	2	0	2	・適切だと思います。	・国が定める職員配置は出ています。分からない際には、管理者が説明致しますので、ご連絡ください。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	2	0	0	・適切だと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	30	2	0	0	・いつも清潔感を感じます。	・他の子の先生の指示や他の子の行動が気になる事が多々あった。(今後、バーテーション等の置き方を工夫しながら、対象していきます。)
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	2	0	0	・思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	0	3	・思います。	・支援プログラムに関しては、こどもサポート教室「きらり」浜北駅前校のHPか、校舎内に提示しております。またプログラムについて確認が必要な際は、校舎管理者にご連絡下さい。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	0	0	0	・相談にのっていただいた上で、計画をしています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	3	0	2	・思います。	・契約の場で説明はしているものの、行き届いていない際は、管理者へお声を頂ければと考えています。よろしくお願いたします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	1	0	0	・思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	3	0	0	・思います。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	11	11	・機会はないと思いました。 ・相談すれば、郵送、希望を取り入れてくれます。	・現在は、利用児さんの様子を確認したり、情報を共有する為、職員間での関わりに終始している状態ですが、今後は地域交流含め関わりが持てるように努力していきます。
保護 者へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1	0	0	・ありました。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	1	0	0	・されています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	3	0	10	・していただいています。	・ペアレントトレーニングに対しては、モニタリング時に必要とされる方へ児発管から提示対応しておりますので、今後も要望や相談を受け次第、対応していく所存です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	1	1	・思います。 ・伝えたことを先生方同士で共有してもらえています。	・一応、フィードバックの時間を持ち、お伝えしていますが、行き届いていない際は、都度確認してください。よろしくお願いたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1	1	0	・していただいて、とても安心できます。 ・定期的目づ相談すると支援してもらえます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1	0	0	・思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	10	5	6	11	・機会は少なくなりましたが以前は少し交流できました。	・現在はファミリーカフェを通して、保護者間の交流が出来るよう取り計らっていますが、今後はより親御様の要望に耳を傾けながら、保護者様同士の交流がもっと密になれるよう対応していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	1	2	・していただいています。	・依頼等があれば、学校訪問まで含めて対応していますので、お気軽にお声を掛けて下さい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2	0	0	・思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	4	2	13	・特にその機会はないと思いました。	・ホームページや施設内に掲示しておりますが、今後はより親御様の目の届く所に掲示していく所存です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1	0	2	・思います。	・情報に関しては、利用契約中のクラウド・サービス等を活用し、漏えいが無いよう徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	3	0	8	・はい。	・様々なマニュアルに関しては、収容玄関入り内に遠置されていますが、今後は更に皆様の目の届く様に、そして随時説明等しながら対応していく所存です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	6	・はい。	・訓練等に関してはホームページ等を介して提示しておりますが、今後は更に皆様の目の届く形で分かるように、そして随時説明等しながら対応していく所存です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2	0	2	・思います。	・安全確保の計画に関しては、契約時に説明をしたり、重要事項説明書の更新時にお話をしていたりしますが、今後も説明を求められた際は、都度対応していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	2	1	3	・思います。	・事故に関しては、事故が起こらないように環境の作り方等の研修は行っています。ただ、事故やクレーム等が発生した際は、上長との連携を含めて、早期連絡対応を図っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	1	0	0	・はい。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	3	0	0	・はい。 ・子どもが楽しんで通所してくれます。安心して子供を任せることが出来ます。	・温かいご意見、大変ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	2	0	0	・満足しています。 ・いつもありがとうございます。	・温かいご意見、大変ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」浜北駅前校				公表日	2026 年 2 月 14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・パーテーションを活用しながら、1人1人のお子様との距離間を保てるよう配慮して、スペース確保に努めている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・基準人員に加え、その他複数の職員（専門職員）の在在を行いながら、手厚く支援するようは図っている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・玄関から支援室に上がる際に、小上がりになっているがスロープを設けている。また、地階から事業所に来る際は、EVを利用できる配慮が成されている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・会社が提示する消毒ルールに沿って対応しつつ、感染症対策委員の見守りの下、感染症を防ぐ取り組み、清潔感を保っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーテーションで個別の空間の確保は図られている。ただ、声の漏れを懸念する際は、相談室の活用も検討に入れて運営対応に当たっている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・昨年度同様に、PDCAサイクルに関しては、職員間の申し送りを介して、振り返りを行いつつ、その情報を持って各位の支援に生かそうと皆一堂に取り組んでいる。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・校舎内に評価集計を提示する事で、親御様の発信を目に出来るようにしつつ、保護者様に見学の機会も設けながら、業務改善の差異の姿が見えるように図っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・この部分は昨年度の良さを保つ形で、朝礼時における職員間の報告会を保ち行いながら、情報共有が進むよう改善に努めている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・相談支援事業所や保健師、その他諸々の方の出入りを設けて、見学評価できる機会をも用意している。また、社内における監査対応で正しい運営が進んでいるかを確認している。	・第三者評価は行っていないが、今後法人に確認を進めていく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・社内研修を積極的に行いつつ、また一方で市からの情報やリタリコ等の情報等々を提示参加を促して、研修参加を進めている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムは作成されており、その理念が見えるよう居室に提示している。その内容を基にして、校舎運営や支援運営が回るよう取り計らっている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントに関しては本児だけでなく、家庭状況、親御様の思い等も足し加えながら、計画作成の糧にしている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援計画における原案ができた辺りで、必ず当計画が適切かを全職員参加の下で会議を行い、児における周知検討を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・左記の記載通り、計画に沿って支援が展開されている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・基本情報は市独自のシートを活用する一方、アセスメントでも当社が用意するインフォーマルなものを活用しながら、こどもの適応行動の状況を確認している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・モニタリングやサービス担当者会議、かけはしシート等をおこないながら地域連携も含めた支援体制を構築している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・記録媒体を統一しており、職員が把握できる環境を整えている。また日頃から相談しながら活動内容を話合っている。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・上記同様に、記録や朝礼等での振り返りの下で、被らないように配慮している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・時間を調整して、個別と集団との時間を回り合い、各位が両方の支援対応を適宜に連携しながら行うようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・項目19の解答と同様	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・支援後ではないが、次の日の朝礼で確認するよう取り計らっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・記録は概ね数日以内に完成させ、次回支援に入る職員にきちんと参考となり得るような徹底がなされている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・概ね6ヶ月を基盤として、モニタリングを進めつつ、計画作成を材料にしながら次回の計画を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	・4つの基本活動への組み合わせは、随時進めている。地域交流に関しても、テナント内のイベントの見学や参加を通して、関係性を築いている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・基本的にこどもファースト目標で支援を行っており、決定事項についてはこどもに委ねて自己決定を促し尊重している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・左記の会議へは児発管だけでなく、専門的支援実施支援者や5年以上児童福祉に携わっている職員など複数が参加できるようにしている。（Zoomなどの活用もより多く参画できるようにしている。）	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・この部分も上記同様のメンバーが参加できるよう取り計らい、より多くの者が連携に参画して、適宜な支援を行えるよう取り組んでいる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・送迎は行っていないが、必ずしもそれほど情報の行き来を行っている訳ではないが、運動会や学芸会等、大きな行事がある時には提示を依頼している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・浜松市が推奨している情報「サポートかけはしシート」を介して児童の確認を行う一方で、相談支援事業所を介して、園にアプローチを掛けて貰いながら情報の共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	・利用児に、そのようなお子様が出ていないが、移行していく児童宅へは「何かあれば一報を。」と伝えており、情報共有が求められる際はそれ相応の対応はできている。	・昨年度含めて、まだそのような児が明確には出ていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	・法人が委託しているスーパーバイザーを介して適切な助言が取れるようにはなっている。（研修も都度行われている。）	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	・職員間における交流はあり、児童クラブ等を利用する児に関する情報共有等は、積極的に行っている。	・一方で、当施設が個別型（利用時間も長時間で無い）である事から、他デイや児童クラブなどといった施設との地域交流は進んでいない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	・自立支援協議会への参画は、適宜に行っている。研修部会への参画や、そこで派生する研修には参加をする事は都度行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・親御様にはフィードバックという形で、当日行った計画の意図やその様子、今後の展望を伝える。この行為を介して、常の課題における共通認識を進めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・年2回ほどのファミリーカフェを行い、家族等の参加できる研修の機会や情報提供を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時には、運営規定の説明を重要事項説明書を介して適宜に分かりやすい言葉で説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・サービス等利用計画を参照し、モニタリングでは親御さんへ再度主訴の部分を振り返りながら、その意向や主訴に近づけるように5領域を介して確認するように努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	・計画説明に関しては37項の部分で聞き取った内容を具現化した事、加えて再度その意向が反映しているかを親御様の確認の上で同意を取っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・時には支援の様子を見学して頂きながら、悩みを共有して問題解決に努めている。(家族支援における相談も場も設けるように取り図っている。)	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・上記でも記載したファミリーカフェを介して、研修等の機会に交流できる機会(サロン型)を設けて、交流できるよう取り図っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情を受けた際には、早急に上司との相談を持ちながら、状況を確認し合う事で「情報」を共有しつつ、迅速に対策案を講じる等しながら、対処に当たっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・現在は主にブログで、校舎内における様子を発信して対応している。(また掲示物も活用しながら、目に掛かるようにしている。)	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報保護に重視する書類への説明を契約時には適切に行い、その上でブログ等ではお子様の顔や不参加希望の意向を必ず尊重して事に当たるよう対応している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・外国籍の方にも分かるような簡略した言葉での話し方は、常に意識して行うよう対応している。(時折、通訳も立てている。)	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・当校舎はテナント内に在る為、地域住民との接点は少ないが、テナント内における交流は、消火訓練、購買への協力等で関わりを築いている。	・校舎の立地上の観点から地域住民となると、テナント同士が地域住民となる為、左記のような関わりが主になる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルに関しては、業務継続計画も含めて用意されているものもあり、訓練も都度家族へ周知を図りつつ行っている。(チラシと筆頭の通達にて、周知を図っている。)	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・月一単位必要な訓練を行っている。また、防災用品等の確認も都度行う一方で、児や家族含めて、防災への意識を高めるような対応も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時の基本情報シートに記載をして頂けるように配慮している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・昨年同様、アセスメント・基本情報からの確認と面談時における状態での確認で留めている。(基本食べ物を与えていない為、このような形に終始している。)	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・計画の作成は玄関前にある運営規定等で周知できるよう取り図っている。(また、会社内で研修も行いながら、安全対策の在り方を都度確認している。)	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に関しては、親御様には重説での説明で対応する一方で、見学時等に説明の場を持つよう心掛けている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットが提示された段階で、全体で共有する一方で、再発防止の案も出し合いながら、再発防止に努めている。(上長の確認も取るように取り図っている。)	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・昨年に続き、月一で虐待における認識の確認を進める一方、委員は外部研修の参加を促しつつ、その内容を各職員に落としながら説明するなど、適宜に内外問わずに研修を進めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・重要事項説明書を介して、一連の内容を説明し、計画へ取り入れるよう心がけている。	